

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
農集排	02	01	01	0401	農業集落排水事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 14 年度 ~ 平成 27 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

《事業目的》  
 衛生的で快適な生活環境の実現と、公共用水域の水質の保全を図る。

《事業開始の背景》  
 農業集落排水は、農村地域の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に事業を開始し平成22年度に全地区の施設整備が完了した。現在は、早期に供用開始した施設を中心に経年変化による老朽化が進んでいることから、施設全体で計画的かつ効率的な老朽化対策に取り組んでいる。

《事業概要》  
 ○機能診断  
 施設の現状を把握するための機能診断調査  
 ○最適化構想の策定  
 機能診断調査に基づき必要な対策方法を定めた構想計画の策定  
 ○調査計画  
 施設の更新又は改造の要否について、詳細調査と工法の検討を行う  
 ○公共枘取付等工事

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 施設稼働率	%	目標	100	100	
		実績	100	100	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	下水道課	重茂 猛	554

		24年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		29,209				
財源内訳	国庫支出金	1,200				
	地方債	1,800				
	その他	16,000				
	一般財源	10,209				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

①計画調査 5,475千円  
 事業計画（事業採択申請のための計画書作成） 5,475千円

②公共枘取付等工事 8,726千円  
 枘設置 11件 8,726千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
農集排	02	01	01	0401	農業集落排水事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	住み続けたい住環境づくり
	2		2-7	
目的	衛生的で快適な生活環境の実現と、公共用水域の水質の保全を図る。			
対象	事業区域内の住民。			
意図	補修、補強、維持管理等の費用の最適化・平準化を行い、将来的に負担軽減に繋げる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○機能診断  
 施設の現状を把握するための機能診断調査  
 ○最適化構想の策定  
 機能診断調査に基づき必要な対策方法を定めた構想計画の策定  
 ○調査計画  
 施設の更新又は改造の要否について、詳細調査と工法の検討を行う  
 ○公共柵取付等工事

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態  共催  実行委員会・協議会  事業協力・協定  
 後援・協賛  補助・助成  委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 機能診断実施地区数	地区	計画	3		
		実績	3		
② 最適化構想の策定	計画	計画	1		
		実績	1		
③ 調査計画	業務	計画		1	
		実績		3	
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 施設稼働率	%	目標	100	100	
		実績	100	100	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

緊急性のあるものは、応急措置及び補修等に対応し、目標を達成した。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

機能診断の結果、施設全般で補修の必要な箇所が見られている。

目的妥当性	<b>公共関与の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・条例により定められている。
有効性	<b>成果の向上余地</b> <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	・現在の施設稼働率は、100%であり向上余地はない。
効率性	<b>事業費・人件費の削減余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・コスト削減等に取り組む。 ・業務の中で外部委託できるものは実施しており、これ以上の人件費削減はできない。
公平性	<b>受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	利益を受ける範囲が明確である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

・老朽化施設のうち3施設について、詳細調査と具体的な補修工法の検討を行った。  
 ・成果指標を維持するため、施設の長寿命化を図る必要がある。